

平成10年度当初予算の概要についてお知らせします。

特集1 優しさにあふれ、躍動するくまもとを目標して。



熊本県知事 福岡 謙二

若葉の香りとさわやかな風が心地よい季節となりました。年度も変わり、県庁では、新たな体制の下でさまざまな取り組みをはじめ、先日、厚生省から平成七年の平均寿命が発表され、本県は女性が八十四・四歳で全国第二位、男性が七十七・三歳で全国第三位の長寿県であることが明らかになりました。

これは、保健、医療や福祉の充実によるものだけではなく、熊本のもつ豊かさの証明の一つであろうと考えています。きれいな水、おいしい空気、新鮮な食べ物、あるいは、都市と農村が調った生活環境、治安のよさといったさまざまな要素が総合的に結びついたものであると、大変喜んでいます。

県政は、おかげをもちまして概ね順調に推移しています。昨年は水俣病問題に大きな区切りをつけること

ができた、この春には、県民の悲願であった九州新幹線鹿児島ルート建設に向けて、「船小屋〜新八代間」が着工するなど大きな前進を見ることができました。また、三月には、産業展示場「グランメッセ熊本」がオープンしましたし、来年の「くまもと未来国体」の主会場となる県総合運動公園、陸上競技場もほぼ完成いたしました。幹線道路、空港、港湾などの社会資本の整備や産業の振興でも着実な成果を上げており、本県のさらなる飛躍のための基礎的條件も整いつつあります。

しかし、社会経済情勢は大きく変化しており、国・地方を通じて財政状態も厳しさを増しています。このような困難な時代ですが、これまで以上に行政改革に積極的に取り組み、効率的で質の高い行政の運営に努めるとともに、社会経済情勢の変化に的確かつ柔軟に対応しながら、県総合計画「ゆたかさ多彩「生活創造」くまもと」の実現に向けて全力を尽くします。

今後とも、県政に対する皆様方のご理解とご支援をよろしく願っています。

また、介護保険の円滑な実施を図るため、介護支援専門員の養成などの本格的な準備に取り組みます。民間の社会復帰施設に「地域生活支援センター」を併設し、地域で生活する精神障害者の日常生活を支援

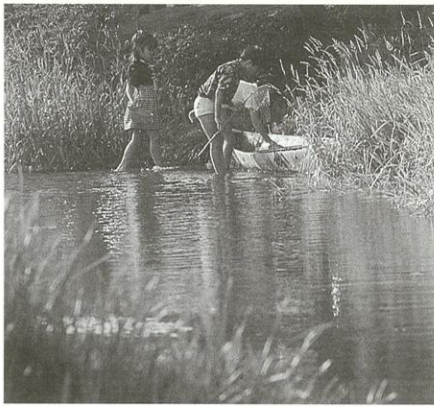
また、介護保険の円滑な実施を図るため、介護支援専門員の養成などの本格的な準備に取り組みます。民間の社会復帰施設に「地域生活支援センター」を併設し、地域で生活する精神障害者の日常生活を支援

また、介護保険の円滑な実施を図るため、介護支援専門員の養成などの本格的な準備に取り組みます。民間の社会復帰施設に「地域生活支援センター」を併設し、地域で生活する精神障害者の日常生活を支援

また、介護保険の円滑な実施を図るため、介護支援専門員の養成などの本格的な準備に取り組みます。民間の社会復帰施設に「地域生活支援センター」を併設し、地域で生活する精神障害者の日常生活を支援

また、介護保険の円滑な実施を図るため、介護支援専門員の養成などの本格的な準備に取り組みます。民間の社会復帰施設に「地域生活支援センター」を併設し、地域で生活する精神障害者の日常生活を支援

また、介護保険の円滑な実施を図るため、介護支援専門員の養成などの本格的な準備に取り組みます。民間の社会復帰施設に「地域生活支援センター」を併設し、地域で生活する精神障害者の日常生活を支援



ダイオキシン類対策 一億六千二百万円

健康づくりと福祉の充実のために

くまもと21ヘルスプラン

県民の自主的な健康づくりを支援するため、「くまもと21ヘルスプラン」に基づき、健康的な生活習慣の普及、啓発や疾病予防対策を進めます。

くまもと21ヘルスプラン事業 六千二百万円

子育て環境の充実

平成九年度に策定した「くまもと子どもプラン21」を推進するとともに、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを進めます。第三子以降の三歳未満の子どもの保育所に通っている場合に保育料の軽減を実施 九千七百万円

やさしいまちづくり、高齢者・障害者福祉の充実 お年寄りや障害のある方々の自立と社会活動への参加を支援するため、やさしいまちづくりを進めます。



魅力ある産業とゆとりある労働環境づくりにむけて

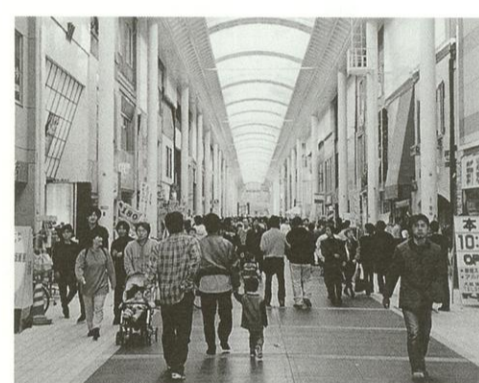
魅力ある産業とゆとりある労働環境づくりにむけて

農業の振興

自立経営体の育成を図るために、省力化機械施設などの導入を推進するとともに、地域の条件を生かしたおいしい米づくり、特色ある園芸産地の育成、畜産経営の低コスト化などを進めます。また、生産性の向上を図るために土地基盤の整備を進めるとともに、農業集落排水施設など生活環境基盤の整備を推進します。さらに、環境と調和した農業を進めます。

ウルクアイ・ラウンド農業白意思関連対策 百十二億二千万円

林業の振興 間伐の促進や林道の整備など、高



新たな装いの熊本市上通りアーケード

商・工業の振興

街づくりの視点から市町村の特性を生かした、中心市街地活性化の取り組みを支援します。また、第二期テクノポリス計画や企業誘致を進めるとともに、県内企業の技術力向上、生産連携の強化、新分野進出などへの支援や、環境など今後の重要分野に重点をおいた技術開発の支援を行います。

水産業の振興

沿岸漁場を整備し、稚魚の放流による栽培漁業を行うとともに、小型魚の漁獲規制などを推進し、資源の管理による生産の安定を進めます。また、安全性の高い養殖技術の普及と収益性の向上を図ります。

観光の振興

大型観光キャンペーンを実施し、全国に熊本の魅力をアピールするとともに、アジアなどからの観光客の受け入れ環境を整備します。

労働

豊かでゆとりある生活を実現するため、週四十時間労働制の定着を目指して、労働時間の短縮を進めます。

教育

県立高等学校については、生徒数の減少に対応するため学校の規模適正化、適正配置などに関する指針を策定します。特殊教育の振興については、県立熊本養護学校の高等部に重複学級を設置するとともに、訪問教育を試行します。重度の障害のある生徒のための教育環境の整備 六千百万円

文化の振興

陶智城跡(菊池市)の歴史公園化や県立博物館の基本計画の策定を進めます。また、市町村や民間団体などが行うさまざまな文化活動を支援します。 陶智城跡整備事業 四億七千万円

くまもと未来国体

平成十一年開催の第五十四回国民体育大会、第三十五回全国身体障害者スポーツ大会に向け、開閉式及

予算編成の基本的な考え方

歳入面では、国庫補助金が大幅に減少するなど厳しい財政状況の中、県民の皆様の付託に応え、県総合計画に掲げる「優しいくまもと」「躍動するくまもと」を築いていくため、徹底した事務事業の見直しを行いながら、真に必要とされる諸施策に対しては重点的・効率的配分に努め、質的に充実した予算となるよう編成しました。

予算の特色

主な特色としては、①県総合計画を推進するための重要な施策の推進をはじめ、②九州新幹線や社会資本の整備促進、③環境基本計画に基づく地球温暖化対策、ダイオキシン類対策、水俣病対策などの推進、④くまもと子どもプラン21の推進、⑤ウルクアイ・ラウンド農業農村対策、⑥くまもと未来国体及び全国身体障害者スポーツ大会の準備、⑦やさしいまちづくりの

予算の主な内容

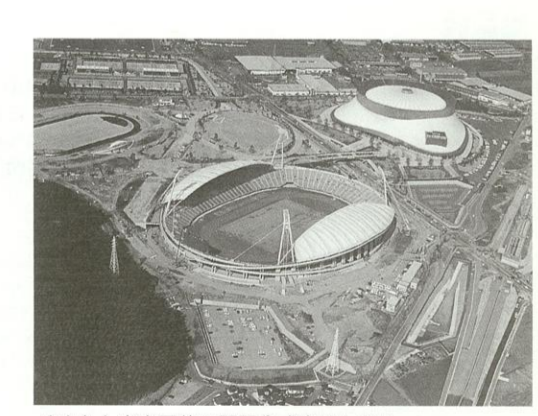
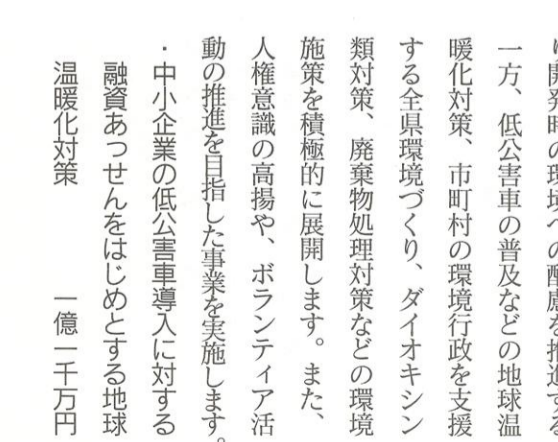
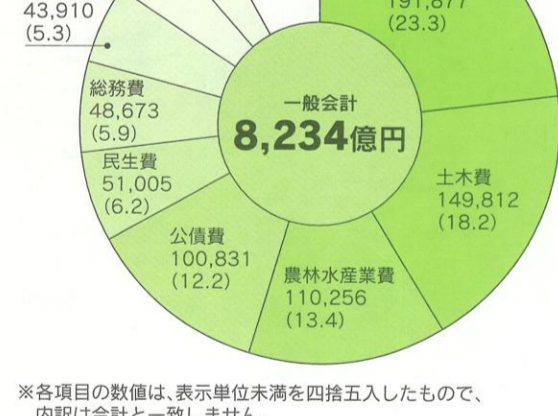
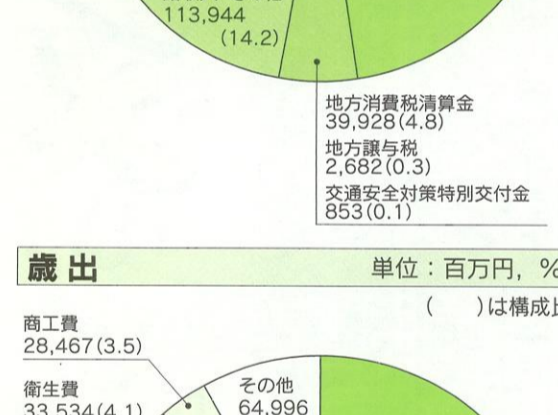
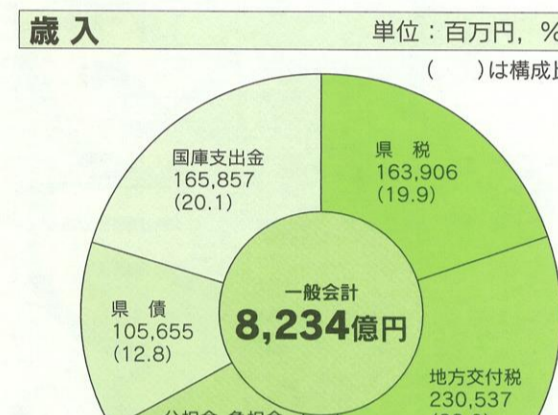
推進、⑧中心市街地活性化の取り組み、さらには、⑨介護保険制度導入の準備など高齢化対策、中小企業振興対策、市町村合併支援対策及び広域行政の推進、県産材利用促進対策、情報化施策の推進などが挙げられます。

治安の確保

深刻化する少年犯罪の予防対策を推進します。また、突発的な事件・事故への即応体制を強化するシステムの構築を進めます。

環境生活分野

環境影響評価要綱などの運用により開発時の環境への配慮を推進する一方、低公害車の普及などの地球温暖化対策、市町村の環境行政を支援する全県環境づくり、ダイオキシン類対策、廃棄物処理対策などの環境施策を積極的に展開します。また、人権意識の高揚や、ボランティア活動の推進を目指した事業を実施します。中小企業の低公害導入に対する融資あつせんをはじめとする地球温暖化対策 一億二千万円



くまもと未来国体の開閉式会場となる熊本県民総合運動公園陸上競技場 (中央)



九州新幹線鹿児島ルート(船小屋〜新八代間)着工式典から

ゆとりある教育と新しい文化振興のために

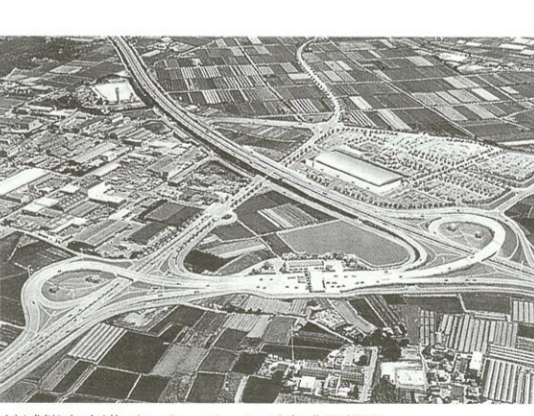
ゆとりある教育と新しい文化振興のために

県立高等学校については、生徒数の減少に対応するため学校の規模適正化、適正配置などに関する指針を策定します。特殊教育の振興については、県立熊本養護学校の高等部に重複学級を設置するとともに、訪問教育を試行します。重度の障害のある生徒のための教育環境の整備 六千百万円

利便性の高い交通・社会資本の整備のために

利便性の高い交通・社会資本の整備のために

び競技運営スタッフの養成、アクセス道路網の整備など準備を進めます。



益城熊本空港インターチェンジ完成予想図 (右は上は、グランメッセ熊本)

道路整備

九州縦貫自動車道の益城熊本空港インターチェンジは、平成十一年春の完成を目指します。国道については、熊本天草幹線道路などの整備を進めます。県道については、熊本阿蘇幹線道路や南関インター荒尾・長洲幹線道路の整備などを、引き続き重点的に取り組みます。

情報化

各種情報通信ネットワークの総合的な活用を図るため、行政・公共サービスにおける高度情報化の推進を図ります。